



校長室より



令和7年 1月 16日

No.29

自分らしく生きる 豊かに生きる

第22回 和歌山かがやき展が開催されました

今年は一ヶ月早く、1月15日（水）11時から20日（月）正午までの期間、和歌山かがやき展が、和歌山県民文化会館 大・中・小展示室で開催されました。和歌山県内の特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒たちの絵画、工作、書道作品約1073点が展示されました。

この展示会は、平成15年度から、毎年、障害のある児童生徒の芸術や文化活動への理解を広めるために開かれています。本校の児童生徒の作品は、中展示室に入ってすぐのところに展示されていました。まず目に飛び込んできたのは、高等部書道選択生の書道作品です。筆の力強さやぬくもりとともに、アイデアでもうならされる作品が並んでいました。そのパネルの裏には、白良浜 de ひらひら Tシャツアート展に出展した作品や和歌山大学教育学部の美術教室の寺川先生や永沼先生と一緒に制作した陶芸作品や紙工作が展示されています。展示室の壁面には、一学部入院生の児童生徒が一生懸命に色紙を握ったり筆を動かしたりして仕上げた共同作品や季節作品が並んでいます。他にも美術の授業で取り組んだ、静物画や自画像などの力作も展示されていて、目を見張るものがありました。

展示されているどの作品にも、エネルギーが感じられますし、ピュアな心そのまま表現されたものが多いです。一つ一つの芸術作品には、完成までのドラマがあります。観られた人たちはきっと感動されたことでしょう。

同日で、特別展示室では、和歌山県に在住の障害のある方々の絵画、書道等の作品を展示している「未来（あした）の匠展」も開催されていました。特別支援学校等を卒業されたOBたちの力作を堪能できますね。

